

質 問 順 位	6	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 財政	1. 財政健全化計画の進め方について	1. 昨年8月の中期財政フレームで厳しい見通しが示され、2月の新年度予算記者発表では前田市長が「非常事態宣言の可能性を示唆した」と報じられ、3月の市政執行方針では「財政健全化計画を新年度の早期に策定する」と述べた。市民の関心は高い。これからまとめていく財政健全化計画は、今後数年間の市政を大きく左右するものになると考える。そこで①素案発表の時期②市民への説明と意見聴取の時期、方法③これまでタッグ計画などがあったが、どのような形式でまとめるか、市長のお考えを伺います。		
2. 税務行政	1. 固定資産税について	1. 収入率は、2014年度決算値で現年課税分96.9%、滞納繰越分8.3%と、市税の中では最低。特に滞納繰越分は国民健康保険税をも下回る非常に低い収入率になっている。①固定資産税の収入率と1万2,000人を超える納税義務者の厳しさ、10年前、20年前と比較すると、どのような特徴があるか。②滞納繰越分が極端に低い要因について		
	2. 個人市民税所得割、法人市民税法人税割について	1. 人口減少と低賃金化による市政への影響は大きいと考える。そこで給与所得の現年課税分の調定額について、年少者扶養控除等が変わった後の推移と増減の特徴について伺います。		

質問順位	6	質問者	清水雅人 議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
		2. 国内では輸出型大企業や多国籍企業が史上空前の利益を上げている。一方市内では、事業所減少と収益減少傾向に歯どめはかかっていないと思われる。そこで現年課税分の①課税法人数②調定額について、近年の推移と増減の特徴について伺います。		
		3. 以上から、アベノミクスで地方では実感が感じられないと言われている中、市民税から見たアベノミクス効果について伺います。		
	3. 不動産の差押え解除基準について	1. 不動産差押えの累計件数は、昨年度末で何件か。また、差押え解除については、滞納が解消されなければ解除されない実態があるのではないか。基準はどのようにしているのか伺います。		
	4. 延滞金について	1. 結果として、延滞金が膨らんでいる事例が多いと思われる。ある1か月の延滞金額について、1,000万円以上、100万円以上1,000万円未満、10万円以上100万円未満、1万円未満の人数（法人を含め）について伺います。		

質 問 順 位	6	質 問 者	清 水 雅 人 議 員		
件 名	項 目	要 旨		メ	モ
		2. 執行停止処分は、昨年度117件。支払猶予は何件か。また、その相談件数等は何件か。			
3. まちづくり	1. コンパクトタウン東滝川に支所創設について	1. 3つのコンパクトタウンの一つ東滝川地区の課題は都市計画マスタープラン（2011～30）では地区課題として①人口の維持と若い世代の流入促進②生活利便性の向上③未利用地（空き地）の活用などを上げている。一方、小学校の統合もあり、若い世代が新たに転入しにくくなっているのではないか。また、住み替え支援制度の活用で移住した子育て世代の事例はあるのか伺います。			
		2. マスタープランでは「地区の生活利便性向上、住宅地の魅力や住みやすさの向上を図るため、未利用地を有効活用します」としている。国道38号のバス本数は減便が進み、市政の各種窓口業務は高齢者にとって大変になっているのではないか。 そこで、①戸籍・住民票、国民健康保険・後期高齢者医療保険、介護保険、高齢者・心身障がい者・児童福祉、環境行政、確定申告など税務行政などの窓口手続については、江部乙地域と同様の利便性を確保するため、東滝川支所を創設することが必要ではないか。 ②セキュリティと費用は民間光回線を利用したプライベートネットワークで安価で可能ではないか。③総合戦略では「小さな拠点」形成の有利な交付金もある。地元の意見をよく聞き、優先順位を聞きながら、コンパクトタウンとして最も適切な施策を地域総合戦略に入れるべきでないか。 以上について市長のお考えを伺います。			

質 問 順 位	6	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 個人情報漏えい対策	1. 端末分離について	1. 総務省は6月、日本年金機構の情報流出問題の発覚を受け、自治体にマイナンバー制度の番号をつける7月の前までに、番号をつけた個人情報を保管する基幹系ネットワークと、インターネットに接続する情報系ネットを分離するよう対策を求めた。①当市は対策が完了しているか②基幹系の端末台数と情報系の端末台数③滝川市とつながっている中空知水道企業団や戸籍業務の一部を受託している関係市町は完了しているか。		
	2. その他の対策について	1. 年金機構は基幹系と情報系ネットが分離されていたにもかかわらず、あれだけの情報が漏れた。当市はどのような対策がたてられているか。		
5. 農業行政	1. 丘陵地農業振興対策について	1. 江部乙地区の丘陵地域の畑作は、菜種、ハルユタカ（初冬まき小麦）など市の特産品、滝川ブランドを生産し、菜の花では最大の集客をしている。しかし農作業は独特の困難性がある。その特徴は、①1軒の農家の耕作面積は50ヘクタールにもなるなど広大でありながら、農地は飛び地が多い②菜種、小麦、大豆、そば、雑穀類を輪作しているため、4月～11月まで各品種の耕運・播種・防除・収穫・乾燥・出荷で、雨の日以外は働きづめ③作業に熟練度が求められるので、パート・アルバイト・派遣従業員をほとんど雇用していないなど、大変な実態と考える。一方、当市にとって重要な菜種畑の面積を今後10年、20年と維持していくためには、これらの農家経営の継承、生産技術の開発、販路維持対策は、農家任せでは十分とは言えないのではないか。		

質問順位	6	質問者	清水雅人 議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
		2. そこで、総合戦略に、「菜種生産の安定による観光と特産品の拡販」のための事業を入れることを提案する。内訳は①輪作技術の開発（農試などと連携）、②繁忙期の機械運転技術者確保（モデル事業実施）、③エルムダム用水の多目的給水施設の増設による作業の効率化支援④菜種観光による収益の農家還元の検討（全国の農業と観光の先進事例調査）、⑤菜種油を原料とした特産品開発（大手食品加工会社との連携）、⑥販売先の精油販売業者や商社に対する課題調査（農家側で改善すべき点など）、⑦市場調査（国産菜種油の需要拡大の可能性）など。市長のお考えを伺います。		
6. 中心市街地活性化対策	1. スマイルビルについて	1. 駅ホームのエレベーター設置に続き駅前広場が造成が進められている。また、スマイルビルは、たきかわホールや、くるる・とんとんなど市の施設や事業を実施している。ところが前所有者との無償譲受の話し合いが中止になり、新たな所有者に譲渡された。そこで設備の老朽化などで、市の施設・事業の安全性等に、今後5年～10年を見据え、問題はないのか。		
		2. 新しい所有者と、無償譲受等の話し合いを持つ方針があるのか。市長のお考えを伺います。		
7. 教育行政	1. 新パークゴルフ場について	1. 市民の健康増進のために、多くの市民に利用してもらう必要がある。利用見込みについて①延人数の総数②内、市民の延べ人数		

質 問 順 位	6	質 問 者	清 水 雅 人 議 員		
件 名	項 目	要 旨		メ	モ
		2. 現在、パークゴルフを年間に1回以上する市民は何人程度と把握しているか。また、そのうち何割程度が、29年度に利用すると見込んでいるか。			
		3. 市民利用を促進するために、市民料金の設定、滝川ふれ愛の里線の新パークゴルフ場への延長、タクシー割引券などは行わないのか。			